

令和6年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象：3歳児クラス)

モニカ本駒込園



テーマ

音

設定理由

リトミックを通してさまざまな音に興味を持ちながら、生活の中で偶然生まれる音にも反応を示している。どうして音が鳴るのかと実験的に動く姿がある。

対象クラス

3歳児クラス・11名

活動の狙い

音が鳴る仕組みを知る

キーワード

「音はどのように生まれるのか」

活動期間

令和6年11月～令和6年12月

活動回数

計4回

活動①

身近な音に触れる

活動の狙い

身近な音に触れる

問い

「身近にどんな音があるか」

準備物

〈屋内〉

積み木 | チェーン玩具 | クラフト紙 (10枚)
水道

〈屋外〉

落ち葉 | 枝 | 石 | 砂

活動内容

①屋内にある身近なものを使い、音を鳴らして擬音で表現する。

固いもの同士をぶつける音→カンカン、水が流れる音→ジャージャー、落ち葉を握る音→パリパリなど、身近な素材から生まれる音を聞き、擬音で表現する。

②保育者が発した擬音から音を想像し、身近な素材を組み合わせる音を作る。

同じ素材でも、当てる素材によって音が変わることに気づく。

③屋外にあるものを使い、音を鳴らして擬音で表現する。音に囲まれて生活していることを知る。

身近な音に触れる

3歳児 きりん組

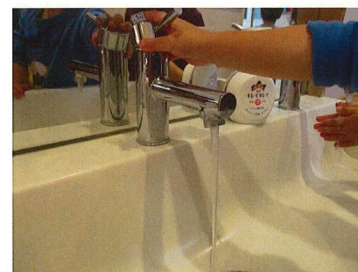
カンカン



トントン



身近なものを叩いたり、破ったり、触れたりすると、様々な音が聞こえてきました。素材の組み合わせによって音も変化します。硬い音、鋭い音、流れるような音、小さな音など、たくさんの音に囲まれて生活していることに気付きました。



ジャージャー



ビリビリ

活動②-1

身近なもので音を作る①

問 い

「容器や素材、量によってどんな音の違いがあるか」
「どうすると音が鳴るか」

準備物

ペットボトル（10本）
缶（10個）
プラスチック容器（10個）
砂 | 石 | 水

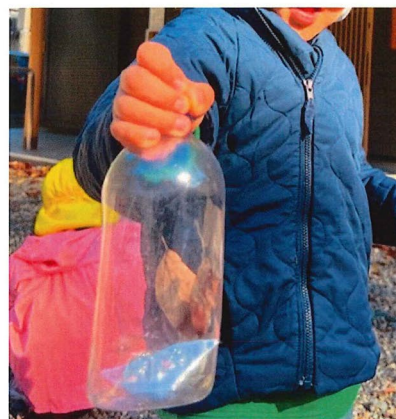
活動内容

容器に素材を入れて音を鳴らし、違いに触れる。
素材の大きさや量によって音が変わることを知る。

- ①『富士神社』に行く。
- ②容器に素材を入れて音を鳴らし、違いに触れる。
素材の大きさや量によって音が変わることを知る。

音を作る

3歳児 きりん組



カラカラ

シャカシャカ

コロコロ

カンカン

ペットボトルや缶などの容器に、石や葉などの素材を入れ、音を作りました。素材の種類や量によって音が変わることや、物同士がぶつかることで音が生まれることを知りました。



活動②-2

身近なもので音を作る②

問 い

「素材や鳴らし方によって
どんな音の違いがあるか」

準備物

牛乳パック (20個) | ストロー (30本)
割り箸 (10本) | 輪ゴム (30個)
白画用紙 (20枚) | クレヨン (4本)
ペットボトルキャップ (20個)

活動内容

素材の組み合わせによりさまざまな音が出ることを知る。

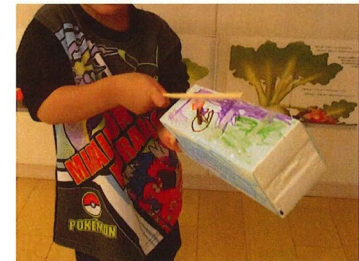
①物と物がぶつかりと音が鳴ることを思い出しながら、カスタネットとギロに触れる。

②牛乳パックとキャップを組み合わせたカスタネット、牛乳パックと割り箸を組み合わせたギロ、牛乳パックと輪ゴムを組み合わせたギターを紹介し、音が鳴る仕組みを伝えながら作るものを選ぶ。

③カスタネット→セロテープを使い、牛乳パックにキャップを二つ貼る。キャップ同士が当たるように折り曲げて音を鳴らす。ギロ→セロハンテープを使い、牛乳パックにストローを5本貼る。ストローのギザギザ部分を割り箸でこすり、音を鳴らす。ギター→牛乳パックに輪ゴムを3本通す。空洞に合わせた輪ゴム部分を弾き、音を鳴らす。

音を作る

3歳児 きりん組



ペットボトルの蓋を合わせたカスタネット、ストローのギザギザ部分を擦ったギロ、ゴムを弾いたギターの3種の楽器を作りました。身近な音に触れる活動を通して、物と物が触れると音が生まれることを知り、様々な素材を組み合わせて表現していました。生活の中で、歩くときに足と地面が触れる音や、揚げ物を噛むときの音などにも気づくようになり、発見を楽しみながら音に触れています。



活動③

楽器に触れる

問 い

「楽器の音はどのように生まれるのか」

準備物

鈴（11個） | カスタネット（11個）
タンバリン（11個）

活動内容

- ①3種類の楽器の扱い方を知り、選んで触れる。物と物が触れる音が鳴ることを踏まえて、楽器の仕組みを理解する。
- ②お楽しみ会で行う楽曲に合わせて楽器を演奏する。

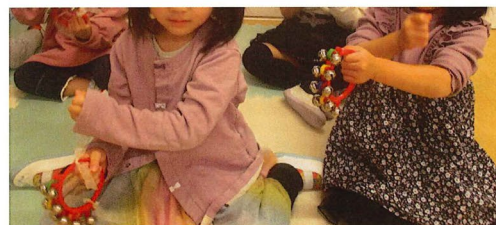
楽器に触れる

3歳児 きりん組



タンタン

シャラシャラ



リンリン

シャンシャン



音に囲まれて生活していることや、物同士がぶつかることで音が生まれることを知り、それらを意識しながら楽器に触れました。接触部分を観察したり、音を擬音で表したりしながら、音楽に合わせて自由に音を奏でています。

使用物

積み木 | チェーン玩具 | 金具 | クラフト紙 | ビニール袋 | 落ち葉 | 枝 | 石 | 砂
ペットボトル | 缶 | ピン | プラスチック容器 | 水 | 牛乳パック | 輪ゴム
画用紙 | ペットボトルキャップ | 筆記用具 | 鈴 | カスタネット | ストロー | 割り箸
ギロ | ギター

テーマ：音

全体の振り返り

普段、当たり前前に音がある生活のなかで、改めて身近な音や楽器の仕組みなどに触れた。物同士がぶつかることで音が生まれることを知り、弱い力では小さな音、強い力では大きな音、少ない量では軽い音、多い量では重い音などが聞こえることに気づいた。さまざまな音の種類や、音が鳴る条件を踏まえて楽器に触れることで、正しい音の鳴らし方を意識して演奏することができた。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋2-12-16 明和ビル7階
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ本駒込園

〒113-0021
東京都文京区本駒込3-20-3
TEL:03-5834-8361
FAX:03-5834-8312